

# Andreae Filtersは背面から正面にロードして面ロード効果を排除します



Andreae Filterの動作原則は、粒子がフィルター表面への衝撃によって捉えられ、開口部から内側に引き込んでフィルター背面の壁に当たり、パツフルから引き込まれて正面壁の裏側に当たり、最終的に、気流から深いホールディングポケットに集められます。

じゃばら式で均等な穴があいていることで、ローディング中、気流は均等にブースの全体の抽出面全体に配分され、静圧が低いまま保たれ、気流が一定のまま保たれます。

他の人工層フィルターは、定期的に交換して効果的に運用する必要があります。詰まったフィルターは空気を抵抗のない別のパスにリダイレクトして、ブース内の均一な気流に影響を与えます。さらに、この高い静電気により、排気ファンの排気量が減少することがあります。

Andreae Filtersは、繊維やメッシュ製のフィルターと比較して3~5倍の保持容量があり、結果としてより長い寿命、廃棄物の減少、交換時のダウンタイムを短縮できます。

繊維いならびにいメッシュのフィルターは、面にロードします(フィルターの表面に粒子を集める)。面ロード効果により、排気壁に沿ってあらゆる場所で不均一な気流が起こります。結果として、フィルター寿命が大幅に短くなります。

ポリエステル排気

